

## 令和6年度 稲城市 校長会

本市校長会は 市内全12校の校長で組織し、稲城市の教育施策の具現化、各教育課題の解決を図るため、市教育委員会と緊密に連携し、会員相互の資質向上を図り、各小学校の学校経営方針に基づいた教育活動が一層向上するように活動している。

### I 活動方針・重点事項等

- 1 校長会の組織的な取組を強化するとともに、市教育委員会との連携を深める。
- 2 各校の学校経営の在り方について意見交換し、より良い経営の在り方について学び合い、自校の経営に生かす。
- 3 研修及び自主研究活動の充実に努める。
- 4 校長会の諸活動の充実に努める。
- 5 副校長会との支援、協力関係を強める。



### II 活動・取組

- 1 ESDの理念をもとにした地域教育の充実

稲城市の教育プランではESDの理念が中心に置かれ、地域とのかかわりを大切にした学校づくりが進められている。市にはESD推進委員会が設けられ、市の教職員全体でのESD研修、年度末の報告会などを行い、学校相互に取り組みの情報を共有し、よりよいESD教育の実践を図っている。市内全小学校がユネスコスクールに登録し、SDGsを意識した取り組みも行われている。

また、全校がコミュニティ・スクールになって3年目を迎えたこともあり、今後もその取組を共有し合い、その取組のますますの充実に努める。

- 2 小中連携の取組

稲城市教育プランでは、小学校と中学校との連携が謳われており、中学校ブロックを中心に様々な取組を共有して進めている。稲城市教育研究会（略称：稲教研）では、全ての教科部会において、小学校・中学校の教員がともに、研究・研修を行う体制をとっている。それぞれに研究授業として実践を提案し、それをもとに協議し、指導法をはじめ教育課題の解決を図り、児童・生徒のよりよい学びのために研究、研修活動を進めている。

- 3 経営研修・人材育成

毎月実施する校種別の校長会では、テーマを定め、各校長が経営方針について報告、協議する機会を設けている。また、昨年度は、教育委員会の企画で、校長の学校経営をプレゼンし合う機会もあり、各校の取組を共有し合うことができた。

人材育成に関しては、本会人材育成部による自主研修会を企画し、校長職候補や管理職候補等の各種選考に向けて研修会を実施している。論文や、面接の指導を通して、人材育成を図る体制を整えている。

### III 特色・特徴等

姉妹都市である長野県野沢温泉村・北海道大空町との交流が進められ、地域との交流や児童相互の交流が行われている。

また、昨年度からアメリカ・フォスターシティとの交流活動も始まっている。

